

やまもと

広報やまもと

No.386

1

2 0 1 2



www.town.yamamoto.miyagi.jp

主な内容

年頭のあいさつ	2
心をひとつに ～チーム山元 復興へのあゆみ～	5
山元町震災復興計画を可決	11
「法テラス山元」法律相談業務をスタート	12
長期派遣職員の皆さんを紹介しします	16
写真で見る 「心をひとつに！山元町ふれあい産業祭」	20
山下第一小児童、お年寄りに 手作りカレンダーを配付	22
平成23年度成人式のご案内	26
くらしの情報	28
全国各地から、たくさんのご支援 本当にありがとうございます	34

「もちつき、ぺったんぺったんこ」
(やまもと幼稚園もちつき大会)

(P 34に関連記事)



本格的復興へ 力をあわせ 心をひとつに

山元町長
齋藤 俊夫

東北の湘南と称される住み良いわが故郷が、一瞬にして激変した、あの大地震から9カ月余りが経ち、いつしか干支も「兔」から「辰」に変わり、新しい年を迎えることとなりました。大切なご家族・ご友人を亡くされた方、これまでの暮らしを土台から奪われた方、未だ不自由な仮設住宅等での生活を強いられる方、それぞれ特別な思いで新年をお迎えになられたことと存じます。どうか、今年が皆様にとりまして復興元年となられますことをお祈り申し上げます。

平成23年3月11日は、私たちにとって生涯忘れられない日となりました。未曾有の大震災は、美しい山元を一瞬で奪い去り、私たちはかつてない困難な状況に立たされています。復興までの道のりは、長く険しいものでありますが、このピンチを乗り越え、後世に誇れるまちづくりをするという、チャンスに切り変えていく気概が必要と考えています。

私は、先人たちから引き継いだ美しい豊かな山元を再生させ、町民の皆様にも少しでも前を向いて歩んでいただきたいという思いから、町長としての使命を全力で果たすことを改めて誓いました。

昨年、皆様のご意見をいただきながら策定を進めてまいりました「山元町震災復興計画」は、12月に議会のご可決を賜り、本格的に復興への一歩を大きく踏み出すこととなりました。この復興計画は、震災からの復旧・復興を最優先にしつつ、

これまで町が抱えていた諸課題の解決をも図るものです。町民一人ひとりが復興の主体となり、町の総力を結集・協働し「チーム山元」として心をひとつに取り組んでまいります。町の将来を見据えた再構築でもあり、時として、変化は痛みを伴いますが、乗り越えた先には、必ずや明るい未来が待っています。

今年、集団移転や災害公営住宅の整備など、被災した方に新たな住まいの場を提供する準備が始まります。今月からは、被災した方々の面談調査を開始し、住まいについてのご意向を確認後に詳細な事業計画を立て、必要な土地の取得や災害公営住宅の建設に着手することとしています。

また、防潮堤の本復旧工事や新たな道路の整備も開始され、とともに、農地の復旧も進み、多くの水田で作付けが可能となります。JR常磐線についても、新路線での用地買収が始まるなど、復旧に向けて動きが本格化してまいります。

町としては、このような復旧・復興事業を着実に迅速に推進するため、多くの方の支援をいただきながら、しっかりと組織体制を整備し取り組んでまいります。そして、町民の皆様から「山元町に住んで良かった」と実感できる、「キラリ山元！みんなの希望と笑顔が輝くまち」づくりを図ってまいります。

今年も、皆様とともに、スピード感、行動力を持って全身全霊で取り組んでまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。



復旧・復興を最優先に

山元町議会議長
阿部 均

町民の皆様には、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、平素から議会に対し温かいご理解と格別なるご支援・ご協力を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

昨年を顧みますと、3月11日14時46分に発生した、マグニチュード9.0という未曾有の大地震と大津波が本町を襲い、町の約半分の沿岸部地域を飲み込み尊い命を奪い、約2,500世帯の家屋が被災しましたことは誠に痛恨の極みであり、哀惜の念に堪えません。ここに改めて、心から哀悼の意を表します。

大津波は生命と財産を瞬時に奪ったばかりではなく、沿岸部の先人たちが昔々と築き上げてきた地域の町並み、全国的に誇れる特産のホッキ貝の生産基盤、町の基幹産業である農業、特にイチゴ栽培用ハウス等の施設が壊滅的な被害を受けました。

議会といたしましては、1日も早い生産の再生・復興と町民の生命、財産を守る災害時の危機管理体制の確立、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに向け、町当局と一体となり、大震災からの復旧・復興を最優先に、町が抱える多くの課題解決に向け、町民の皆様とともに取り組む覚悟であります。

昨年は、11月に震災により延期されていた町議会議員選挙が執行され、新人3人を含む14人の新たな体制でまちづくりの方向性と課題について、活発な議論がなされた年でありました。

さて、国政では菅政権から野田政権に引き継がれ、雇用景気対策、年金改革、大震災復興対策と重要課題が山積しており、

遅々として進展しない震災関連対策に苛^{いら}だたした時期もありましたが、第3次補正が国会を通過し関連法案も可決されていますが、欧州財政危機が国内に波及する可能性もあるとされ、被災自治体の復旧・復興に悪影響が及ばないことを念じております。

復旧・復興事業は国の施策と直結しており、国政の動向を注視し、本町の復興に取り組んでいかなければなりません。議会では、「町民に身近な議会」・「町民に開かれた議会」を基本として、議会報告会を開催し、議会・町政に対するご意見・ご要望等をいただくとともに、FMりんごラジオによる12月定例会本会議を生中継放送し、議会活性化の一環としたところです。

今後われわれ議会は、住民の代表として二元代表制の一翼を担い、執行機関と一歩離れ、2歩離れず、東日本大震災の復興と郷土の再生に議会が持つ権能を十分に発揮し、住民福祉の向上に議員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



本年もよろしく
お願いいたします

山元町役場 山元町議会

- | | |
|-----|--------|
| 副町長 | 平間 英博 |
| 副議長 | 後藤 正幸 |
| 議員 | 青田 和夫 |
| | 岩 佐 哲也 |
| | 渡 邊 計 |
| | 菊 地 八朗 |
| | 竹 内 和彦 |
| | 遠 藤 龍之 |
| | 齋 藤 慶治 |
| | 佐 藤 智之 |
| | 岩 佐 豊 |
| | 岩 佐 隆 |
| | 伊 藤 隆幸 |
| | 佐 山 富崇 |
- (議席順)



今年 辰年



「辰」は、十二支の5番目に数えられ、動いて伸びる、整うを意味し、新しい物事が生まれてくる準備が整った状態を表します。

また、「辰年」は十二支の中で唯一想像上の動物が用いられていますが、なぜ「辰」だけが想像上の動物になったのかはいまだに議論的であり、定説がありません。

竜(龍)は、古来から水中に棲む神獣とされ、鳴き声で風や雷雲を呼び竜巻となつて飛翔することから、雨をあやつり大地を潤す、豊穡のシンボルとされるときも、勢いよく昇天、飛翔する様から、隆盛、英雄、豪傑の象徴ともされてきました。

このたびの大震災で甚大な被害を受けた山元町。今年、竜(龍)が如く復旧・復興が進み、1日も早く、そして町に1人でも多くの笑顔があふれる、そんな年にしたいたいです。



復旧、復興への確かな道程を

みちのり

山元町教育委員会教育長
森 憲一

いつしか四季は巡り、新しい年を迎えました。昨年中は、皆様方にたくさんのご支援とお心遣いをいただきましてありがとうございました。心よりお礼申し上げます。昨年の大震災から9カ月余りが経ちました。各小中学校や生涯学習施設は大きな被害を被り、特に浜通りの各施設は壊滅的な被害を受けるなど、心が張り裂ける思いです。

この間、丘通りの小中学校や生涯学習施設は、避難所としての役割を担い、避難された方々と地域の皆様、そして教職員とが寄り添い励ましあって、生活をともにしてまいりました。なかには、自ら被災しながらも児童生徒の安全確保や不足した物資を提供するなど、物心ともに寝食を忘れて懸命に力を尽くされた保護者や地域の皆様の姿は、どれだけ心強く頼もしい支えとなったか計り知れないものがあります。まさに、「焼け野の雉夜(とびよりのよる)の鶴(つる)の諺(ことわざ)のごとく、身を粉にして献身的に取り組まれましたことに心から敬意を表するものです。

等による機能回復に努めているところであり、さらなる学習機会の提供やスポーツ環境を整え、町民の皆様の学習成果を生かす機会を充実させていきたいと考えております。併せて、復興への一大動脈である常磐自動車道の建設に向けては、関連する埋蔵文化財発掘調査を滞りなく遂行し、早期に工事が進行できるように努力してまいります。放射能に関する心配や不安についても最優先の課題です。教育委員会としては、放射線への感受性が高いと言われる子どもたちのかけがえのない大事な健康を守るために、引き続き全小中学校で放射線量を測定し、結果を公表するとともに、町としても国のガイドラインに沿って除染実施計画等を策定し、必要な対策を講じる予定にしております。安全安心を第一義に取り組みます。

私は、山元町の教育に関わる全ての皆様の思いを胸に、かつて晩年を磯浜(いそはま)で過ごされた志賀 潔博士の「自ら信ずるところ篤ければ、成果自ずから至る」の精神を持って、今後の復旧、復興への道程を確かなものにするために、未来に向けて力強く生き抜く子どもたちの育成のために、保護者や地域の方々と、そして教職員と手を携えて粘り強く歩んでいかねばと強く思っております。皆様方には、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、ますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

歳時記「雑煮」
雑煮は、お正月に食べる伝統的な日本料理で、その歴史は古く、室町時代には既に食されており、武士の宴会では必ず初めの酒の肴として雑煮が振舞われていました。当時、雑煮は宴の最初に食べる縁起のよい料理で、雑煮を食べなければ宴が始まらなかったことから、この習わしをもとに、一年の始まりである正月に食べるようになったといわれています。
雑煮は、大晦日に歳神様にその土地の山海の産物をお供えし、そのおさがりとしていただくもので、雑煮を食べる際には旧年の収穫や無事に感謝し、新年の豊作や家内安全を祈ります。なお、沖繩を除く日本各地で食す風習のある雑煮ですが、餅の形やだし、具の種類に至るまで、地方や家庭ごとに千差万別です。例えば、雑煮に入れる餅、角餅である東日本に対し、西日本では「円満」の意味を持つ縁起ものの丸餅が使われています。また、汁の味付けもしょうゆや白味噌仕立てのほか、小豆汁を食す地域もあるそうです。
さて、あなたのお家の雑煮は…?!

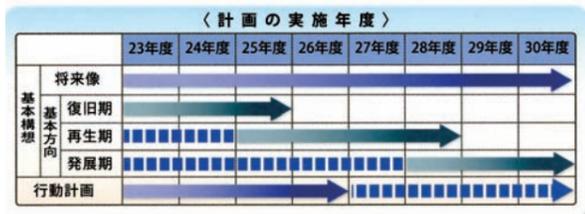
復興計画の位置づけ

東日本大震災により本町が受けた被害規模はあまりに大きいことから、その復旧・復興に係る施策は、長期にわたり町が総力を挙げて取り組まなくてはなりません。震災復興とともに、町が震災前から抱えていた「人口減少」「少子高齢化」「にぎわいの創出」などの課題解決を成し遂げるためには、これまでの手法にとらわれない新しい視点でのまちづくりが求められます。

このようなことから、本町の震災復興計画は、震災からの「復旧」「復興」を最優先とし、町の課題に対応したまちづくりの基本構想を定める「第5次山元町総合計画」と位置づけることとします。

計画の期間と構成

- 計画期間は、平成30年度までの8年間とします。
- 計画は、「基本構想」と「行動計画」の2部構成で策定しています。



基本構想
基本理念に基づき、町が目指す将来像やそれを達成するための基本方向および重点プロジェクトを示すもの。

行動計画
具体的事業や数値目標、スケジュールを示すもの。今回は前期4年分のみを策定する。

復興の基本理念と将来像

キラリやまもと！みんなの希望と笑顔が輝くまち

この将来像には、震災で壊滅的な被害を受けた山元町の自然環境や、リンゴ・イチゴをはじめとする特産品などの地域資源を再生し、人々の笑顔とにぎわいを創出する、という思いが込められています。

町民が将来に「希望」を持って震災を乗り越え、安心して暮らせる幸せを感じあらゆる世代の「笑顔」があふれる町を目指します。この将来像実現に向け、町民と行政の協働のもと、山元町らしさを生かした復興に取り組みます。



▲3つの基本理念のイメージ

グランドデザイン —土地利用の方針—

4つに分類した各ゾーンの復興に関わる土地利用の方針を定めます。

- 1 居住地ゾーン** ～安全性と利便性を兼ね備えた居住環境を整備します～
沿岸部町民の移転や、住民の定住化を促進するとともに、減災措置のとれた住宅地づくりを誘導します。また、既存集落との連携を踏まえた中心市街地を国道6号線沿いに形成します。
- 2 産業用地ゾーン** ～安全性と生産性の向上のため、集約化を図ります～
山元インター周辺における企業等の誘致や平野部にある農地の集約化、避難路の整備を図るとともに職住分離を促進します。
- 3 防災緑地ゾーン** ～交流拠点施策を兼ね備えた防災緑地ゾーンの整備を図ります～
防潮林やレクリエーション施設、津波避難場所などを整備します。
- 4 山地** ～自然を生かした整備を行います～
山地や水系の保全と活用、地質などの特性を考慮し自然を生かした開発を促します。



山元町震災復興計画を策定しました
「キラリやまもと！
みんなの希望と笑顔が輝くまち」を目指します

心をひとつに



チーム山元

復興へのあゆみ

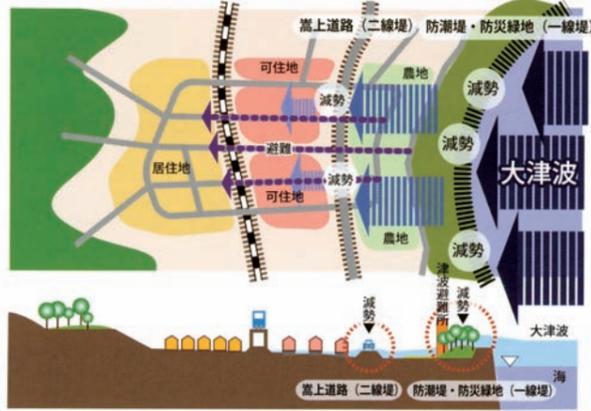
ポイント5 防災・安全・安心

壊滅的ダメージを受けた防潮堤の本格復旧を進めるとともに、防災緑地や幹線道路をかさ上げし、減災を含めた多重防御による津波対策に取り組みます。

また、津波からの迅速な避難のため、高所津波避難所や避難所への誘導案内板を設置し、安全な避難場所と避難経路を確保します。

さらに、「自助・共助」の理念のもと、訓練や防災教育により防災意識の醸成を図るとともに、日常の防犯活動については、地域ぐるみで防犯に努め、安全・安心な地域社会づくりを目指します。

自助・共助による防災意識の高いまち



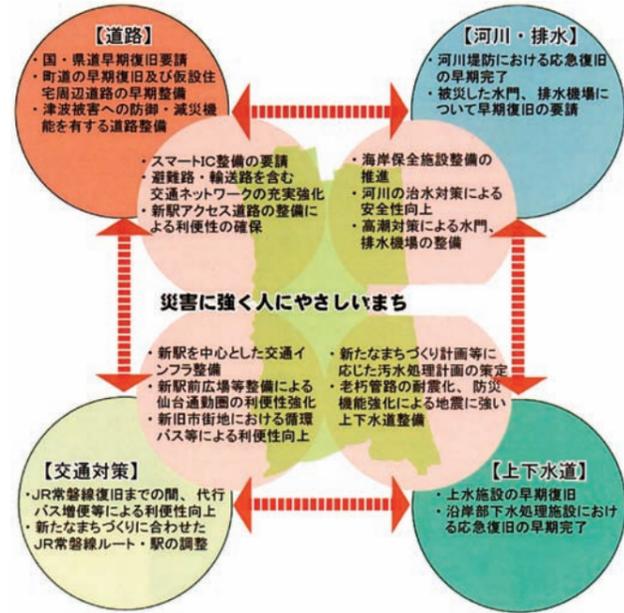
ポイント6 都市整備

道路については、緊急時の避難路・輸送路を含めた交通ネットワークの充実・強化を図ります。

河川については、海岸保全施設整備の着実な推進とともに、治水対策や高潮対策としての水門や排水機場の整備を図ります。

上下水道については、新たなまちづくり計画に応じた汚水処理計画の策定、地震に強い上下水道の整備を進めます。

交通対策については、JR常磐線の新駅を中心とした交通インフラの整備等により、仙台通勤圏としての利便性を強化します。これら都市施設の整備により、災害に強く人にやさしいまちを目指します。



ポイント7 環境

太陽光など再生可能エネルギーの導入促進と普及を行い、自然環境に配慮し共存するクリーンなまちづくりを目指します。

また、被災地における大量の廃棄物について、分別と再利用を図るなどの適正処理を推進し、ごみの減量化を図ります。

放射線による環境汚染問題については、子どもが安心して生活できる環境の確保を優先に、追加被ばく線量が基準値以下となることを目指し、計画的に除染を実施します。



ポイント8 行財政運営

本町の復興には、多額の経費を要するとともに、柔軟な制度運用が必要となります。このため、復興に必要な財源の確保や制度に関する提案・要望を国、県へ提言します。

迅速な復旧・復興を達成するために、復興関連事業の着実な推進と、その実効性を確認し、計画的な進行管理を図るものとします。

復興のポイント

復興のポイントは、本計画の将来像を実現するうえで、各分野の取り組みにおいて重視する点や指針を示すものです。

ポイント1 生活

被災住宅の応急修理支援、応急仮設住宅の整備等、住居を失った住民の生活拠点を確保し、生活再建のための各種経済的・技術的支援を継続的に進めます。

津波被害が大きい地域の住宅については、集団移転や災害公営住宅による新たな市街地の形成や居住空間づくりを進め、既存集落・コミュニティの再生とともに、新たな地域コミュニティの再構築を図ります。



ポイント2 産業

農業については、集落営農組織の設立や人材育成の支援、農地の再生と優良農地の集約化を進めます。また、「仙台いちご」の復興を進めるとともに、新たな山元町ブランドとしてソバなどの新作物の作付を誘導します。

漁業に関しては、国・県・漁協などの関係機関と連携しながら、磯浜漁港の早期再開を図り、水産物の6次産業化※などによる水産業の活性化を図ります。これら農業、水産業、また商工業の復旧・復興を推進し、山元町ブランドの復興を図ることで、活力あるまちづくりを目指します。

※6次産業化…農林漁業(第1次産業)が、加工・流通販売などの事業展開をすることで、新たな付加価値や雇用などを創出すること。

ポイント4 学校教育・生涯学習

震災の影響により、就学・通学困難な児童生徒への多様な支援を行い、学区の再編および学校の適正配置などを検討します。

また、今回の震災を踏まえた防災教育の充実などによる子どもたちの健やかな成長に努めます。

さらに、多様な生涯学習、スポーツ活動などへの支援やこれらの活動を推進する地域づくりのリーダーを育成します。

複合的な社会教育、社会体育施設の整備充実や文化財の保全活用に努めながら、家庭や地域、学校との協働のもと、町民誰もが将来へ向けた夢や志を育てていくことのできる体制づくりを目指します。



ポイント3 保健・福祉

少子高齢化対策、住民の健康増進の維持のため、国立病院機構宮城病院を核として、診療所・病院、医師会、NPO、民間介護施設等の連携による地域医療の強化、安心できる保健・医療体制を確立します。

また、被災した子どもの心のケアとともに、多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図り、これらの充実した医療・福祉体制の構築により、住み慣れた地での生活を地域全体で支え合うまちづくりを目指します。





第7回震災復興会議の様子

※1 基本構想
計画推進のための基本理念に基づき、目指すべき将来像とそれを達成するための基本方向(ランドデザインおよび施策の方向性)を示すものです。

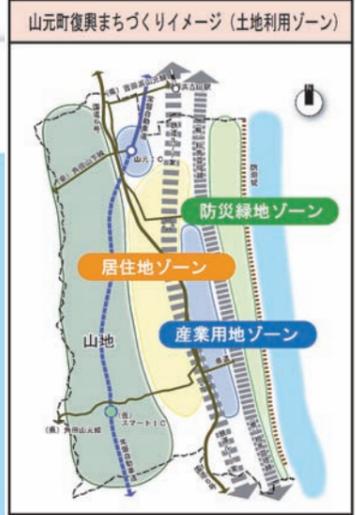
復興会議委員からの主な意見

内容	意見
基本構想(案)について	■本復興計画を町の総合計画と位置づけることだが、復興計画の意味合いが弱くなるのではないか。 【町からの回答】 本町のほぼ全域が被災していることから、平成25年までの復旧期では、復旧事業に重点を置き、段階的に復興に取り組む予定です。前回の総合計画が平成23年3月までの内容であったこと、現況復旧では本町の課題(少子高齢化やにぎわいの創出など)の解決には至らないという考えから、新たなまちづくりに取り組む姿勢で復興に取り組もうと考えており、総合計画としての意味づけを加えています。
	■今回のような大災害に備え、自主防災組織の連携を考えるべきではないか。 【町からの回答】 新たなまちづくりにより、行政区や防災組織などの再編も必要になることから、それらの連携などについてはその時点において検討します。
行動計画(案)について	■自主防災会防災対策用備品整備事業の内容について、防災対策用備品の整備とあるが、具体にはどのようなことを考えているか。 【町からの回答】 今回の震災では、集会所が避難所として利用されるケースがあり、食料や毛布などの備蓄についての反省がありました。新たな避難所の整備と併せて、人が集まる場所には一定の備蓄に取り組んでいく必要があるものと考えており、具体的な内容はこれから決める予定です。
	■巨理駅までの直通バス対応についてはどのように考えているか。 【町からの回答】 巨理駅までの直通バスについては巨理町との協議・調整が必要となりますが、実現には巨理町議会の議決が必要なことや、浜吉田駅の利用者への配慮などから、現在調整を図っています。また、町内の交通サービスを低下させないため、直通バスの運行においては新しいバスの購入を考えています。

第7回震災復興会議を開催しました
町では、先月7日に第7回目となる震災復興会議を開催しました。会議では、町の復興における基本構想(※1)や行動計画(※2)について協議をしました。
協議にあたっては、過去に開催した住民説明会で頂いたご意見などを参考にし、計画への住民意見の反映に努めました。(主な意見の内容は下表をご覧ください)
※2 行動計画
基本構想を具現化するため

また、復興計画ではより効果的な計画実現のために、重点的・戦略的に主要課題に取り組む重点プロジェクトを定めています。
計画の実効性を確保するため、今回は「前期」4年分を中心し、「後期」4年分の計画については、後期間開始の前年度である平成26年度に定めることとします。

土地利用計画図



新居住用地	第1次産業用地ゾーン(農業生産(再生)用地)	町内ネットワーク(整備道路、避難路)(国道・県道・町道(既設))
産業系用地	防災緑地ゾーン	防波堤・防潮堤
医療福祉関連施設集積エリア	交流ゾーン用地	散策路等
既存集落	いちご等施設園芸集積エリア	避難ビル

※JR常磐線については早期着工、完成に向けて、ルートや構造などについて協議していく。
※県道相馬巨理線のルート並びにスマートICについては関係機関と調整していく。

今後の住まいに関する個別面談のお知らせ

町では、東日本大震災により住まいを失われた世帯を対象に、防災集団移転や災害公営住宅の整備など、新たな住まいの確保を支援していきます。
それらの事業計画を策定するにあたり、必要面積や対象世帯などの数を把握するため、以下のとおり個別面談を実施します。

対象	○東日本大震災により住まいを失われた町内世帯 ○震災時点(平成23年3月11日)に災害危険区域第1種・第2種に居住されていた世帯
実施期間	今月中旬から
実施場所	役場仮庁舎内、仮設住宅の集会所など
面談内容	新たな住まいの確保のために適用できる支援制度を説明し、集団移転や災害公営住宅への入居希望など、今後のお住まいについてのご意向をお聞きします。

※実施場所等詳細については、対象世帯へ別途郵送などでご連絡します。(今月上旬ごろ)

☎ 震災復興推進課 ☎ 37-0497

平成23年第4回山元町議会定例会が、12月12日から26日までの15日間の会期で開催され、「山元町震災復興計画」をはじめ、一般会計補正予算案、任期付職員の採用等に関する条例改正案などの各種議案が、可決されました。

今回議会において一部修正し可決された「山元町震災復興計画」は、震災からの「復興」・「復興」を最優先としつつ、これからの町の将来を見据え、町が抱える多くの課題に対応したまちづくりの基本構想を定める「第5次山元町総合計画」にも位置付け策定されたものであり、復興の将来像である「キラリやまもと！みんなの希望と笑顔が輝くまち」の実現に向け、これからのまちづくりが進められることとなります。

一般会計補正予算は、復旧・復興業務に対応した仮庁舎の増設経費、応急仮設住宅のひさしおよび簡易スロープ設置工事経費、宮城県が実施する災害廃棄物の2次処理経費、災害公営住宅建設用地取得経費および各種災害復旧に要す



山元町震災復興計画を可決

第4回山元町議会定例会

る経費など、77億8、140万円を追加し、総額305億6、993万円となりました。

また、「山元町一般職の任期付職員の採用等に関する条例」が改正され、震災復旧・復興事業に伴い増大する業務に従事する職員を、一定期間、任期付職員として採用できるようにしました。

なお、第4回議定会定例会の審議内容については、議会だよりやまもと（2月1日発行）をご覧ください。



お世話になります！

任期満了に伴い、昨年新たに委嘱された各行政区長の皆さんです。このたびの震災に伴い、これまでご紹介できませんでしたが、今回あらためてご紹介いたします。（順不同・敬称略）

〔後列〕

横山 高橋 鎌太郎

大平 大橋 勇夫

町 柴田 秀一

笠野 青柳 昭勝

花釜 坂根 守

久保間 阿部 勝郎

小平 高橋 良一

山寺 伊藤 秀孝

浅生原 森 信一

高瀬 成毛 喜芳

合戦原 椎谷 照彦

真庭 富田 幸雄

上平 早坂 宏一

磯 星 新一

新浜 田所 孝志

〔前列〕

教育長 森 憲一

鷺足 佐藤 好宏

牛橋 岩佐 徳義

八手庭 清野 忠彦

山下 佐藤 壽

町長 齋藤 俊夫

中山 阿部 正紀

下郷 鈴木 敏勝

中浜 磯部 正一

副町長 平間 英博

※◎区長会会長、○区長会副会長

復興まちづくりキーワード集

Vo.5

このコーナーでは、復興計画策定にあたり、関連する事業や制度などをご紹介します。これらの制度は、今後、国や関係機関との調整を図りながら、導入の検討を進めてまいります。

都市計画

●「復興計画」と「都市計画」

今回策定された本町の復興計画は、震災からの復旧にとどまらず、町の将来を見据え、人口減少や少子高齢化など、町が抱える多くの課題に対応した総合計画の役割をも持つものとしています。

本町では、復興計画のランドデザインや都市整備などを実現するための手法として、都市計画によるまちづくりを進めていきます。

●「都市計画」とは？

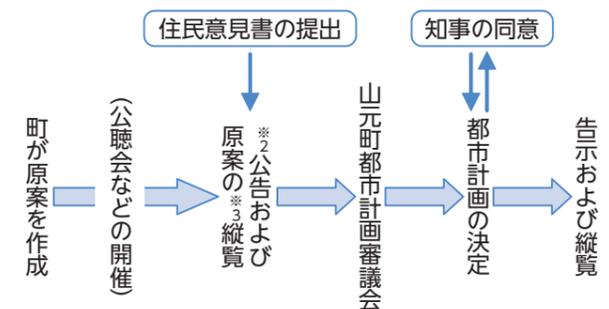
都市計画とは、健康で文化的な都市生活や機能的な都市活動を確保するため、市町村が策定する「まちづくり計画」をいいます。コンパクトで暮らしやすいまちづくりなど、より良いまちをつくるための主な手法の1つであり、計画の策定は、まち全体の土地利用を総合的かつ一体的な観点からの検討に基づいて行われます。

また、都市計画法に基づいて決められることを「都市計画決定」といいます。

都市計画決定の例

- 土地利用・建物の建て方などの町内共通のルール
- 幹線道路・公園・下水道などの都市施設の整備
- 土地区画整理事業^(※1)などによる、新しい市街地や住宅地の形成

町による都市計画決定の流れ



●山元町で現在定めている都市計画

常磐自動車道、牛橋公園、互理清掃センター、公共下水道を、都市施設として都市計画に定めています。

※参考「コンパクトなまちづくり」とは？

分散している集落や市街地を集約し、日常生活を送るための機能が、住民に身近な範囲でまとまって利用できるまち（コンパクトシティ）を目指すことをいいます。

「コンパクトなまちづくり」の例

- 商業施設・医療・福祉・交通などの利便性の向上
- 上下水道や道路などの維持管理コストの削減
- 行政運営・行政サービスの効率化

▼「コンパクトなまちづくり」のイメージ



※出典 東北地方整備局

< 語句の解説 >

- ※1 土地区画整理事業
公共施設の整備改善および宅地の利用の増進を図るために行われる、土地の区画形質の変更および公共施設の新設、または変更に関する事業のこと。（土地区画整理法第2条）
- ※2 公告
都市計画決定において、案や決定事項をあらかじめ公表すること。
- ※3 縦覧
公告された原案を閲覧すること。

☎ 震災復興推進課 ☎ 37-0497

悩みごとの解決方法、専門家に聞いてみませんか？ 「法テラス山元」法律相談業務をスタート！



お気軽にお立ち寄りください

先月1日、「法テラス山元」の開所式が勤労青少年ホーム軽運動場で行われ、町内における業務をスタートしました。「法テラス山元」は、日本司法支援センター（愛称：法テラス）が被災者支援の一環と

して、役場敷地内（歴史民俗資料館南側）に開設したもので、県内では南三陸町に続き2番目となります。開所式には、司法関係者など約80人が出席。日本司法支援センターの梶谷理事長は「親切・丁寧、そして被災者の皆さんの心につながる対応をし、お役に立ちたい」とあいさつ。また、町を代表し齋藤町長が「町としても、町民の皆さんにとってより身近な法テラスとなるよう、様々な面で努力していきたい」とあいさつしました。



「法テラス号」が巡回相談に伺います



出席者一同でオープンを祝いました（開所式）

執り行われ、出席者一同でオープンを祝いました。

主な相談業務の概要

- 平日 弁護士による無料法律相談
【相談内容】 二重ローン問題、住まいに関する問題、隣地との問題、相続問題、労働問題、家族間等の問題、借金問題、原発による損害賠償
- 火・金 各分野の専門家による無料法律相談
週2回、相談の内容に応じた専門家による無料相談を次のとおり行います。

◆火曜日

対応者	相談内容
司法書士	土地建物の権利関係、会社法人に関する登記など
税理士	税務申告・相談、会計指導・巡回監査、経営支援など
建築士	建築物の設計、工事監理

◆金曜日

対応者	相談内容
土地家屋調査士	土地・建物の物理的状況に関する登記、境界に関すること
行政書士	権利義務、事実証明に関する書類作成
社会保険労務士	人事労務管理、年金、労働社会保険
社会福祉士	高齢者・障がいをお持ちの方の福祉（健康・医療・介護等）に関する相談

■相談時間 10時～16時
※法テラス山元の業務時間：平日9時～17時
☎法テラス山元 ☎050-3383-0213

災害廃棄物処理推進 連絡協議会を設置しました

県が設置する災害廃棄物等の2次処理（破碎・焼却など）を行う施設については、広報やまもと11月号でお知らせしたとおり、高瀬字浜砂地内に建設工事が進められています。県では、発生した災害廃棄物等の円滑な処理を推進するため「災害廃棄物処理推進連絡協議会」を設置し、11月30日に中央公民館で第1回目の協議が開催されました。

り災証明の申請窓口 を終了します

り災証明の受付件数は、昨年4月をピークに減少し、大きな被害を受けた方の申請割合も低下していることから、り災証明の申請受付は**今月20日（金）をもって終了**します。り災証明が必要な方は、まだ申請していない方は、お早めに申請してください。

※長期入院など特別な事由により、期限までに申請することができなかった方は左記までお申し出ください。
※り災証明書の再発行は、引き続き、総務課（役場仮庁舎2階）・坂元支所で行っています。

☎総務課 総務班
☎37-1111（内線214）

寄贈消防ポンプ積載車引き渡し式を実施

先月2日（金）、役場仮庁舎前で、山元町消防団に対する寄贈消防ポンプ積載車の引き渡し式が行われ、齋藤町長から伊藤団長に車両が引き渡されました。



全国の消防団の魂が手渡されました



全国の消防団から提供された積載車

す」とあいさつ。これに対し、代表受領した伊藤団長は「支援に感謝し、大事に使わせていただきます」と述べ、各分団長に鍵を手渡しました。なお、引き渡された各車両は、今後、仮設住宅地内等に配備される予定です。

平成24年度分入札参加資格審査申請の受付（追加登録）

平成24年度、町が実施する競争入札に参加を希望する方の資格審査申請の追加受付を実施します。なお、既に登録を行っている方の申請手続きは必要ありません。

- 申請区分
 - 建設工事
 - 測量・建設コンサルタント等
- 物品・買入・役務の提供等
- 受付期間
○2月13日（月）から2月27日（月）まで
- 受付時間
○9時～正午、13時～16時
- 受付場所
○役場仮庁舎2階 企画財政課
- 受付方法
○持参（郵送不可）
- 提出書類
○中央公共工事契約制度運用連絡協議会統一様式に準ずる
- その他
○ファイルは業種区分ごとに色指定がありますのでご注意ください。
- 提出する書類等の詳細については、入札参加資格審査申請要領をご覧ください。

生活保護の相談窓口

生活保護の相談窓口は、1月19日・26日、2月2日10時～15時、役場仮庁舎1階第3相談室で実施します。

なお、申請要領は企画財政課前にて配付、または町ホームページからダウンロードすることもできます。
☎企画財政課 財政班
☎37-11118（内線224）
http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/keiyaku/youryou.html

ごみに関するお知らせ

生活ごみの出し方
生活ごみは、指定された分別と出し方（袋・コンテナ・ヒモでくるなど）で、収集カレンダーで定められた日の8時30分までに定められた集積所に出してください。

生活環境への影響、暴力団排除対策などについて意見が交わされました。
町では、今後も県や各関係機関と協力し、2次処理施設が完成しだい、施設での災害廃棄物の処理を進めてまいります。

☎町民生活課 生活班
☎37-11112（内線123）

☎粗大ごみの出し方
粗大ごみは、巨理清掃センターが収集に伺います。
☎22-11717

町内放射線関連情報

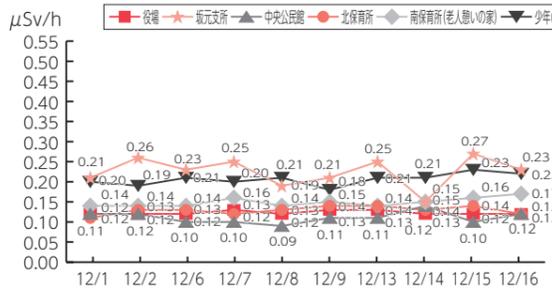
■ 空間放射線量測定結果の推移

☎ 総務課 安全対策班 ☎ 37-1111

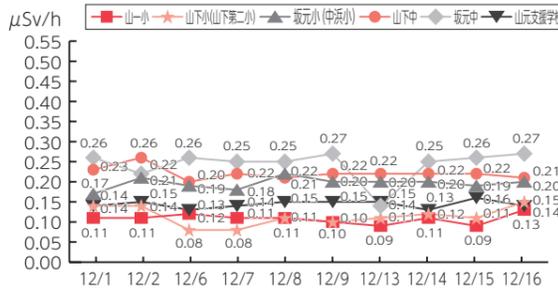
町では、現在次の22カ所で空間放射線量の測定を実施しています。

なお、この測定結果は、町ホームページ (<http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/genpatu/index.html>) で公開しているほか、りんごラジオ (80.7MHz) でも、毎日お知らせしています。

■ 町施設



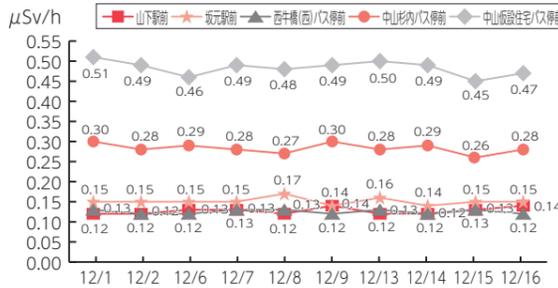
■ 小・中学校



■ その他施設等①



■ その他施設等②



※国では、地上高1メートルにおける測定値を用いることから、上記についてもその基準に基づき、同高で測定した値となっています。
※役場は東北電力のサーベイメーターで、それ以外の施設では、町職員等が簡易型環境放射線モニターでそれぞれ測定。

■ 水道水の放射性物質測定結果

☎ 上下水道事業所 施設班 ☎ 37-1120

水道水の放射能測定結果は、下記のとおり「不検出」となっていますので、安心してご使用ください。

採取場所	採取日	用途	結果	食品衛生法に基づく乳児の飲用に関する暫定的な指標値	原子力安全委員会が定めた飲食用に関する指標値
仙南・仙塩広域水道 南部山浄水場(白石市)	12月13日	放射性ヨウ素	不検出	100Bq/kg	300Bq/kg
		放射性セシウム		無	200Bq/kg

※県公表の水道水放射線測定結果(南部山浄水場 12月14日測定)

※町内各地区の深井戸については、測定日の関係から2月号でお知らせします。

企業の技術支援で新情報提供システムが完成

放射線測定結果とぐるりん号の位置情報を

リアルタイムでお知らせします！

昨年12月、山元町の震災復興を支援する株式会社ユビテック(東京都品川区)から本町に対し、「町民バスぐるりん号の位置情報表示システム」および「車載計測器による放射線量測定システム」が無償提供されました。

2つのシステムは、「町民の方々のバスを待つ時間の負担軽減」、または「日々高まる放射能に対する町民の不安の軽減」を目的に、町からの要望を受け、株式会社ユビテックが新たに開発したものです。

現在、各システムは次により公開し情報提供を行っていますので、ぜひご活用ください。

ぐるりん号位置情報システム「ぐるりんマップ」

このシステムは、町民バスぐるりん号にGPS等を搭載し、山下・坂元循環ルート上の位置情報を連続的にインターネット上の地図に表示するものです。

本システムは、株式会社ユビテックから寄贈を受け、役場仮庁舎・中央公民館・坂元支所・宮城病院・平田外科医院に設置した情報POD(電子掲示板)からご覧いただけるほか、町のホームページやiPhone(아이폰)からもご覧いただけます。

<http://cloud-gis.ubiteq.co.jp/geiger/yamamoto/gururin-map.html>



ユビテック・ガイガー・マップ(UGM)

このシステムは、町民バスぐるりん号に搭載した車載式ガイガーカウンターにより、山下・坂元循環ルート上で計測した放射線量を連続的にインターネット上の地図に表示するものです。

本システムは、町のホームページ内「放射線関連情報」または下記アドレスから直接ご覧いただけます。

<http://cloud-gis.ubiteq.co.jp/geiger/yamamoto/geiger-map.html>



☎ 総務課 安全対策班 ☎ 37-1111 (内線215)

『地デジ移行の基礎知識』

県内のアナログ放送は3月31日をもって終了しますが、その後はどうなるかわかりますか？

4月1日からは、地上デジタル放送だけのようになります。アナログ放送のテレビは何も映らなくなります。自分のテレビが地デジかどうかは、NHK総合テレビを見ればわかります。画面の右上に「NHKG」という「透かし」が表示されています。アナログ放送は、アナログという文字が表示されています。アナログ放送の場合には、地デジへの変更の準備が必要です。準備には、アナログテレビを利用して地デジチューナーを接続する方法と、テレビを買い替える方法の2通りがあります。これらの方法でも地デジが映らない時は地デジサポートにご相談ください。

なお、地デジサポートでは県内各地の役場等で「相談コーナー」を開催しています。詳細は、左記までお問い合わせください。

☎ 地デジサポート宮城
02217451500

滑走事故に注意

冬期間、夜間や日陰では思わぬところで路面が凍結している場合がありますので、スピードをおさえて走りましょう。

また、冬タイヤの交換が済まない方は、早めに交換しましょう。

振り込め詐欺に気をつけましょう

最近県内で、社会保険庁職員を名乗る者から、「年金の還付手続きが行われていない」職員が行くのでキャッシュカードを渡して「などの電話があり、その後自宅に来た男に、キャッシュカードを渡してしまうという振り込め詐欺被害がありました。

犯人は、社会保険庁職員や役場職員、銀行職員、警察官などを名乗ってキャッシュカードを手に入れようとしたり、暗証番号を聞き出そうとします。このような電話や人の来訪があった場合には、カードを渡さず、直ちに警察に相談しましょう。

こちら山元町駐在所

駐在さん通信

岐阜県郡上市 市長公室 企画課



山下 修司さん

派遣期間 9月26日～11月30日
配属先 まちづくり整備課
担当業務 応急仮設住宅(民間賃貸住宅)関連業務

派遣期間を振り返って
在任期間は2カ月間でしたが、一緒に仕事をさせていただいた町職員の皆さんからは、復興に向けた力強い気概を感じました。

震災後、初めての大きなイベントとなった「ふれあい産業祭」では、関わった皆さん一人ひとりの山元町を思う気持ちを肌で感じ、心から感激しました。

まちづくりは「住民力」にかかっています。道のりは、長く険しいものですが、町民の皆さん一人ひとりが、前向きなエネルギーを出しあい、町職員を支えてあげてください。職員は、頑張っている町民を応援してあげてください。

広島県江田島市 産業部 農林水産課



古居 俊彦さん

派遣期間 6月1日～6月30日
7月14日～8月22日
9月1日～11月30日

配属先 まちづくり整備課
担当業務 農地および農業用施設災害復旧、家屋解体等業務

派遣期間を振り返って
私は、広島県の瀬戸内海の島から自己希望により支援に参りました。山元町のことは何も知りませんでした。その被害の大きさには驚かされました。赴任当時は、大変混乱していました。夏を過ぎて秋になり、局面が徐々に変わるとともに復旧が進んでいることを実感できました。

自分に何ができるのか、何をなすべきか、考えながらの支援でしたが、地元の皆さんと全国から集まった支援者の方々に支えられ、半年間の派遣期間を過ごすことができました。

これからも、皆さんで協力して新しい山元町づくりに力強く邁進していただけることを心からお祈り申しあげます。

愛知県半田市 企画部 人事課



榊原 崇さん

派遣期間 7月11日～9月30日
配属先 総務課
担当業務 人事・給与関係の法令整備、労務管理業務

派遣期間を振り返って
私の在任期間は、わずか3カ月という短い期間でしたが、合同慰霊祭や避難所の閉鎖、復興計画の発表など復興への大きな転換期にあり、紆余曲折を経ながらも着実に前進していることを実感できました。

担当業務の性格上、町民の皆さんと接する機会は少なかつたのですが、全国から集まった仲間と情報を共有し、それぞれの思いを熱く語りあ

新しい道を歩むことになった。これからの山元町が、皆さんの手ですばらしい町になることを切に願っています。山元町で頂いた「絆」・「つながり」を、これからも大切にしていきたいと思います。

宮崎県北諸農林振興局 管理担当



田迫 昭彦さん

派遣期間 6月23日～9月3日
配属先 まちづくり整備課
担当業務 総合相談、り災・解体申請窓口統括業務

派遣期間を振り返って
山元町派遣中は、主に各種窓口や電話で住民の皆さんに接する機会がありました。自分の力不足を感じたこともありましたが、皆さんの「ありがとう」の声に支えられ、なんとか任期を終えることができました。

宮崎帰任後、どれだけお役に立てたのか、自問自答の日々ですが、山元町にとって

たことが思い出されます。また、昼夜を問わず町民の皆さんのために献身的に働き、疲労が蓄積されていた町職員の方々の表情に笑顔が戻ってきたのは嬉しい変化でした。最後に、まちづくりの主役は行政ではなく、町民の皆さんです。そして、今年山元町の将来を決定する大切な1年となります。ともに考え、行動することで新たな「やまもと」を創り上げてください。

愛知県半田市 総務部 総務課



瀬恒 恒幸さん

派遣期間 10月1日～12月31日
配属先 総務課
担当業務 選挙、労務管理、派遣職員調整業務

派遣期間を振り返って
愛知県から車で10時間。初めて山元の地に立った深夜2時、視界に入りきらない満天の星空の感動は今でも忘れ

ほんの少しでも「支援」になっていたのであれば、公務員としてこの上ない幸せです。復興に向けて、長く険しい道のりが続いていることと思います。大変なご苦労をされている皆さんに軽々しいことは言えませんが、復興には「希望」を持ち続けることが大切だと思います。近い将来、山元町が復興を遂げられるよう遠い地からお祈り申し上げます。

宮崎県中部農林振興局 農村整備課



清川 文博さん

派遣期間 9月1日～10月31日
配属先 まちづくり整備課
担当業務 農地・農業用施設災害復旧事業に関する業務

派遣期間を振り返って
ラジオで聴いたテレビでも見た被災地の状況判っているつもりでした。山元町の被災地に立って、あの日までのこのでの生活が想像できない。

れません。そんな山元町が大好きになりました。役場では、主に代表電話をお受けする業務に従事しましたが、震災による切実なお話から知人の安否確認、これからの山元町を心配する方々など様々で、時には、私の口調から派遣ということに気づき「苦労様」と励まされもしました。

そして、派遣期間を通じ、公務員として忘れかけていたことを思い出させてくれました。人(町民)のために働くということ……。ありがとうございます。たった3カ月間ではありましたが、「チーム山元」の一員になれたことに感謝感謝です。

大好きな山元町が一日も早く復興再生することを、切に願っています。

三重県津市 都市計画部 建築指導課



水谷 聡志さん

派遣期間 10月1日～12月31日

大きな衝撃を受けました。しかし、山元町で暮らしたの皆さんと接し感じた「活力・優しさ」が、私の活力源となりました。山元町の皆さん!! ありがとうございます。平成24年は、私が担当した農地・農業用施設災害復旧事業も復旧工事の年となることと思えます。この復旧には、施設を利用される農家の皆さんと工事を担当する役場の連携が非常に重要になってきます。

皆さんの連携によって、山元町の美しい農地、大切な施設の早期復旧されることを宮崎の地より祈っています。

宮崎県高原町 農政畜産課



平 真樹さん

派遣期間 10月1日～12月2日
配属先 総務課
担当業務 災害救助法に基づく国庫補助申請業務

派遣期間を振り返って
災害救助法の国庫補助申請

配属先 学務課
担当業務 小中学校施設の災害復旧業務

派遣期間を振り返って
初めての土地での生活・職場という環境の中、あつという間の3カ月でした。震災から半年経過した山元町に赴任することになりましたが、町内を車で回った際に被害の大きさに衝撃を受けました。わずかながらでも復興に向けての助力となればと思

い、これまで業務に努めてきました。業務上、小中学校に行く機会が多く児童・生徒たちの遊ぶ光景、授業風景を見ることができ、その姿にこちらが元気づけられました。最後に、山元町でのこの貴重な経験を今後にかかしていきたいと思えます。ありがとうございます。

業務上、小中学校に行く機会が多く児童・生徒たちの遊ぶ光景、授業風景を見ることができ、その姿にこちらが元気づけられました。最後に、山元町でのこの貴重な経験を今後にかかかしていきたいと思えます。ありがとうございます。



の取りまとめを宮崎県の市町村職員2人体制で行いました。初めて東北に来て、緊張の毎日でしたが、職員や周囲の方々に温かく接していただき、業務を進めることができました。心から感謝です。津波で美しい町並みが一瞬で奪われた風景を目の当たりにした時は言葉が出ず、胸が締めつけられる思いでした。これから復興を果たすまで、長い期間と熱意が必要だと思えますが、美しく笑顔あふれる町が再生することを宮崎から祈っています。また、山元町には美味しいものがたくさんありました。蜜がつまったリンゴ、はらこめし、イチゴ、納豆餅!? 宮崎では味わうことができないものばかりです。他にもたくさんあると思いますが、全国各地からそれらを求めて山元ファイバーが起ころうといいですね。

皆さん、長期間にわたるご支援、本当にありがとうございます。皆さんの山元町に対する熱い思いに報いるためにも、チーム山元、心をひとつに、復旧・復興に全力で邁進していきます。



◀復興への思いを乗せて、大空に放ったバルーンリリース

◀目にも鮮やかな1,000人パエリア「閉場まで行列が途切れることはありませんでした」



▲リンゴ狩り体験「町特産完熟リンゴに大満足！」



▲全国各地の味を笑顔で楽しむ来場者



▲笑顔で風船を見送るやまもと・ふじ両幼稚園児の皆さん



▲祭りの運営スタッフとして、山下中生徒の皆さんにもご協力いただきました



▲宮崎県から応援にかけつけた「みやざき犬かあくん」と「グリーンザウルス」は、子どもたちに大人気！



▲祭りを締めくくった風雲乱打舞が「復興へののろし」のごとく、威勢のいい和太鼓演奏を披露しました

▶キングズバンド演奏「軽快なメロディが会場を盛り上げました」



▲中浜小児童による中浜神楽「震災後、地域の協力のみごとく復興を果たした神楽を、力強く披露」



▲マグロの解体ショー「威勢のいいかけ声にあわせ、手際よく切り分けられていきました」



▲白石戦國武将隊「奥州片倉組」も応援にかけつけてくれました



▲チームみやざきによるジャンケン大会「目指せ！宮崎県産品」



▲山形大曾根餅つき保存会の皆さんによる「餅つきで勇気と元気を届けようプロジェクト」

写真で見る

心をひとつに！山元町ふれあい産業祭

本紙12月号でご紹介しましたとおり、昨年11月23日、役場北側駐車場を会場に、「震災からの復興」を旗印とした「心をひとつに！山元町ふれあい産業祭」が開催され、約2万人の来場者でにぎわいました。

全国各地から、多くの方々に支えられ実現したこのお祭りには、終始たくさんの笑顔と活気が満ちあふれていました。



◀復興支援ブース「全国各地から34の自治体と団体や企業に展示いただきました」



▲宮崎県立農業大学校の皆さんによるフラダンスショー「山元町を元気づけようと、この日のために一生懸命練習を重ねてきました」

まごころのこもった支援に感謝

山二小少年野球クラブが招待を受け、千葉県東金市内で交流

昨年11月26日、27日の2日間、山二小少年野球クラブが千葉県東金市の少年野球チーム「福岡レッドパワーズ」の招待を受け、同市内で試合などの交流を行いました。

「福岡レッドパワーズ」とは約4年前にも交流試合を行っており、同チーム元監督の木原昌利さんがこのたびの震災で同クラブが活動できない状況にあることを知り、少しでも元気づけようと今回の交流会を企画しました。しかし、思い半ばで木原さんは昨年10月に急死。その遺志を引き継ごうと、同チーム親の会のメンバーらで「少年野球の絆の会」を設立し、同クラブの旅費や宿泊費などの経費を捻出するために街頭での募金活動を行い、今回の交流会が実現したものです。

交流会には、同クラブ5、6年生を中心とした選手17人と保護者らあわせて37人が参加。当初の予定では、2日目のみ交流試合を行う予定でしたが、青森県や仙台市内などに転校したメンバーがそろった久しぶりの野球とあって、「試合がしたい」との子どもたちの強い要望があり、2日間とも練習試合を行ったそうです。

同クラブの菊地康彦監督は、交流会の様子について「子どもたちのプレーには旧友と久しぶりに再会した喜びが表れ、いきいきと躍動していました」と笑顔で振り返るとともに、「レッドパワーズ関係者の皆さんにはまごころのこもったおもてなしを受け、感謝の一言に尽きます。これをご縁に今後も交流していきたいし、今度は山元町に招待できるよう頑張りたい」と感謝の気持ちと今後の抱負を語っていました。



お互いの絆を深めた交流会となりました

震災はねのけ、大健闘！



宮城県学年別柔道チャンピオン大会入賞者の皆さん
(写真左から、山田直哉さん、萩原将太さん、青田実久さん、齋藤祥さん)

山元町柔道スポーツ少年団、震災後各大会で好成績

10月23日、小学4年生以上の選手が団体戦で競いあう第34回県スポーツ少年団柔道交流大会(大崎市)に山元町柔道スポーツ少年団が出場し、並み居る強豪を次々と撃破。惜しくも準決勝では僅差の判定で敗れたものの、創設以来最高位となる第3位入賞を果たしました。また、先月4日に開催された県内最大の大会である宮城県学年別柔道チャンピオン大会(女川町)では、11人中4人が優勝をはじめ3位以内入る大健闘をみせました。

同少年団は、震災後、練習場所の山下中武道場が避難所に使われたために練習ができない日々が続きました。この状況に、指導にあたる南條幸夫さん(牛橋区)がJAみやぎ亘理に直談判し、やっとの思いで逢隈支所4階のトレーニングルームを借り受け、そこに畳を敷いてこれまで練習を重ねてきたそうです。

このたびの子どもたちの大健闘に、南條さんは「十分な練習環境とはいえませんでした。子どもたちとともに柔道ができる喜びをかみ締めながら練習に励んできた成果が出てうれしい」と感慨深げな表情で話していました。

多くの方の協力で実現

新そばまつり

小春日和となった先月11日(日)、高瀬区の西石山原仮設住宅地内で「新そばまつり」が開催され、仮設住宅入居者や地域住民らに、手打ちそばが振る舞われました。

このまつりを企画・実施したのは、萱場英一さん(高瀬区)とそば生産者で作る「チームひまわり」、高瀬区の「さいあい」の皆さんです。昨年初めてそばを作付けした萱場さんには、収穫したらぜひ当仮設住宅の皆さんに手打ちそばを振る舞いたいとの思いがあり、その思いに賛同した「チームひまわり」と「さいあい」の全面的な協力により実現したものです。

当日は、「チームひまわり」が収穫した常陸秋そば約60kgが、同チームの日野光男さん(山寺区)の声かけで応援に駆けつけた亘理町のそば打ち愛好家により手際よく「そば」にされ、約200食が提供されました。

この日集まった子どもからお年寄りまで一同は、「打ちたて」「茹でたて」の風味豊かなそばに大満足！「香りがいい」「とてもおいしい」などの声が多く聞かれました。

萱場さんは、「私のほんの軽い気持ちで動き出したイベントでしたが、チームひまわりやさいあいの皆さん、仮設住宅入居者の方々の協力で実現でき、入居者の皆さんにも満足してもらえてうれしい」と話していました。



新そばに舌つづみ

手作りカレンダーでつむぐ地域のお年寄りとの絆



カレンダーとともに贈られたたわりの言葉に、自然と笑みがこぼれます

山下第一小児童、お年寄りに手作りカレンダーを配付

先月7日(水)、山下第一小全校児童が学区内でひとり暮らしをする65歳以上の高齢者67人のお宅を訪れ、来年の手作りカレンダーを手渡しました。この手作りカレンダーは、毎年縦割り授業の一環で作成し配付しているもので、今回で20回目となります。

この日、ナガワ仙台工場内仮設住宅を担当した児童14人は、民生委員の案内で対象者23人のお宅を1軒1軒訪問。お年寄りに対し「これから寒くなりますが、風邪をひかないよう気をつけてください」などと声がけをしながら、手作りのカレンダーと使い捨てカイロを手渡しました。児童たちの思わぬ訪問にお年寄りの皆さんはとてうれしそうで、「ありがとう」「見やすい場所に貼ります」などの感謝の声が聞かれました。

児童から手作りカレンダーを受け取った大累とき子さん(八手庭区)は、「震災前から毎年この時期が来るのを心待ちにしています。本当にありがたい」と笑顔で話していました。山下第一小5年生の高橋旭くん(牛橋区)は、「僕も被災したので、皆さんの悲しい気持ちはわかります。被災した方々を少しでも癒せればと思い、一生懸命描きました」と話していました。

児童から手作りカレンダーを受け取った大累とき子さん(八手庭区)は、「震災前から毎年この時期が来るのを心待ちにしています。本当にありがたい」と笑顔で話していました。山下第一小5年生の高橋旭くん(牛橋区)は、「僕も被災したので、皆さんの悲しい気持ちはわかります。被災した方々を少しでも癒せればと思い、一生懸命描きました」と話していました。

町の文化活動から元気を発信！

第35回町民文化祭



日ごろの成果を披露しました

文化協会会員が日ごろの活動の成果を発表する町民文化祭が、11月19日(土)から23日(水・祝)まで、中央公民館と勤労青少年ホームを会場に開催されました。

当初、町文化協会(会長 石川勝行)では、震災等の影響により参加団体が減少したことから、中止も検討したそうですが、「町の文化活動から元気を発信しよう」との思いから、例年どおりの開催を決めたそうです。

期間中、会場内には、会員らが心をこめて制作した陶芸品や手芸品、書画など、すばらしい作品の数々が展示されています。今回はやはり「震災や復興」をテーマにした作品が目立ち、来場者はその1つひとつを熱心に鑑賞していました。

また、23日には、中央公民館大ホールにおいて芸能発表が行われ、16団体がステージ上で歌や舞踊、神楽などの郷土芸能を披露しました。各出演者のすばらしい演技に、観客からは声援や惜しみない拍手が贈られるなど、会場内は大いに盛り上がり、文字どおり「町の文化活動から元気を発信」した文化祭となりました。



作品の1つひとつを熱心に見る来場者

子どもから大人まで、楽しい交流会となりました



プロ野球選手とキャッチボールを楽しむ球児たち

日本プロ野球選手会被災地キャラバン

先月4日(日)、山下中学校体育館を会場に、日本プロ野球選手会主催による交流イベント「被災地キャラバン」が開催され、親子連れなど約200人が参加しました。

会場には、福岡ソフトバンクホークスの摂津 正投手(JR東日本東北出身)、読売ジャイアンツの橋本 到外野手や東北楽天ゴールデンイーグルスの木村謙吾投手(ともに仙台育英学園高等学校出身)など、東北にゆかりのあるプロ野球選手6人のほか、女子野球の日本代表選手が訪れ、参加した子どもたちとキャッチボールや質問コーナーなどの交流を行いました。

初めは緊張気味だった子どもたちも、選手との交流を通じ緊張がほぐれ、会場内には子どもたちの笑顔と元気な声響き渡っていました。

また、当日はプロ野球審判員によるジャッジテクニックの直接指導もあり、参加した保護者や子どもたちの指導にあたる監督らにとって、今後の活動に生かせる良い機会となったようです。

～東日本大震災で町外に避難している住民の皆様～

お身体の調子はいかがですか？ 健診を受けて、自分の身体の様子を確認しましょう！

特定健康診査・後期高齢者健診のお知らせ

東日本大震災により町外に避難している国民健康保険および後期高齢者医療制度にご加入の方は、避難先でも「特定健診」・「後期高齢者健診」を受けることができます。

- 対象者 国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入している40歳以上の方のうち、町内にお住まいだった方で、住民票を異動せずに町外に避難されている方。
- 受診期間 平成23年11月1日～平成24年3月31日
- 検査内容 血圧測定、尿検査および血液検査等、毎年受診されている健診と同じ内容となります。 ※ただし、がん検診等は除かれます。
- 自己負担金 40歳～74歳の方：1,500円 / 75歳以上の方：無料
※「医療費の一部負担金の免除証明書」が交付されている方は無料



ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン接種費用助成のお知らせ

町では、子どもの健康を守るため、ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成しています。この予防接種は、任意の予防接種であり、保護者の希望により受けるものです。

予防接種は、効果と同時に副反応のリスクを伴いますので、疑問のある方は、保健福祉課 健康づくり班までお問い合わせいただくか、主治医または接種医にご相談ください。

- 対象者 町内に住所を有する生後2カ月～4歳の乳幼児（5歳の誕生日の前々日まで）に出生
- 費用助成期限 平成24年3月31日(土)まで
- 接種回数

接種開始時期	ヒブワクチン	小児肺炎球菌ワクチン
生後2カ月～7カ月未満	4回接種	4回接種
生後7カ月～12カ月未満	3回接種	3回接種
1歳～2歳未満	1回接種	2回接種
2歳～5歳未満		1回接種

※接種開始時期は、生後2カ月から7カ月未満が標準となります。

- 接種費用 無料
- 持ち物 母子健康手帳、健康保険証
- 予防接種の受け方 下記の医療機関に直接電話でご予約ください。予診票は医療機関に用意しています。

■実施医療機関

○山元町内

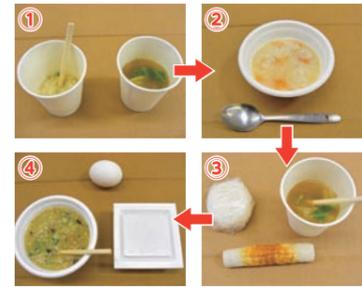
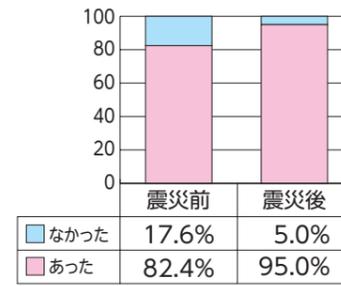
医療機関名	連絡先	医療機関名	連絡先
菊地内科医院	37-3300	平田外科医院	37-4055
松村クリニック	38-0005		

○亘理町内

医療機関名	連絡先	医療機関名	連絡先
板橋胃腸科肛門科	34-8911	氏家医院	34-1320
大友医院	34-1335	大友医院ヒロミ小児科	34-3204
三上医院	34-3711	やべ内科クリニック	34-3003
山形外科医院	34-3171		

☎保健福祉課 健康づくり班 ☎37-1113 (内線148・149)

家庭での備蓄食品について



震災直後からの食事を振り返って 備蓄食品を前に、熱心に質問する来場者



当日はたくさんの方が訪れました

災害時の「食」を考える
11月23日開催の第8回食育フェアではメインテーマを「食は命をつなぐもの」として、東日本大震災を振り返り「食」の大切さを再確認しました。
○家庭での備蓄食品： 備えは大丈夫ですか？ 事前に実施した食生活改善推進員のアンケート結果によると、震災前よりも震災後は家庭で備蓄している方が増加していました。

男性料理教室 参加者募集
「男子厨房に入らず」という言葉もありますが、これからは男性も「自分の健康は自分で守る」時代です。ぜひ料理に挑戦してみてください。初めの方も大歓迎です!!
■日時 2月14日(火) 9時30分～13時
■場所 保健センター
■申し込み・お問い合わせ 保健福祉課健康づくり班 (保健師あて)

○すぐ役立つ食の備え
いざという時のために、飲料水や食糧を2～3日分、家族の人数に応じてストックしておきましょう。
■1人あたり1日分の食品例
・水(2リットル)
・野菜ジュース200cc
・アルファ米
・チョコレート
・缶詰(野菜・肉)
・乾パン など

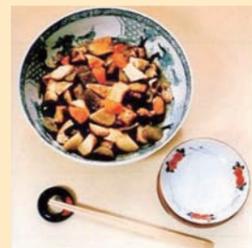
保育所給食で人気の野菜メニュー

こくず(4人分)

里芋	100g
人参	40g
ゴボウ	30g
コンニャク	1/2枚
シイタケ	3枚
鶏肉	100g
焼き豆腐	1枚
砂糖	大さじ1
しょうゆ	大さじ3
みりん	小さじ1/2

- ①鶏肉、シイタケは一口大のそぎ切りにする。
- ②里芋、人参、ゴボウ、コンニャクは乱切りにする。
- ③焼き豆腐は2cm角に切る。
- ④焼き豆腐を除いた材料とひとひたの水、砂糖、しょうゆを鍋に入れて煮る。
- ⑤ゴボウが柔らかくなったら、焼き豆腐を入れ、ひと煮立ちさせる。

エネルギー	99kcal
タンパク質	7.7g
塩分	0.3g



このコーナーではみなさんの健康や福祉に関する情報を紹介します
問い合わせ 保健福祉課 ☎37-1113
内線 福祉班141 介護班130 健康づくり班142

いつでも どこでも だれでも 生涯学習コーナー

問い合わせ

生涯学習課 37-5116
 中央公民館 37-5116
 勤労青少年ホーム 37-0040
 体育文化センター 37-2919
 坂元公民館 38-0415
 歴史民俗資料館 37-0040
 ふるさと伝承館 37-0040
 深山山麓少年の森 37-3150

「第3回山元町の魅力発見」作品募集

山元町の魅力を作品にしてみませんか？
 すばらしいやまもとを創る協議会では、山元町の魅力を表現した作品を左記により募集します。
応募作品
 山元町の魅力を表現した絵画・写真・標語など
応募資格
 どなたでも応募可

締め切り 平成24年2月17日(金)
応募方法 応募用紙(町内両公民館に設置)に必要事項を記入し、作品を中央公民館まで提出してください。
表彰 審査を行い、最優秀賞1点、優秀賞数点を表彰します。入賞作品は、中央公民館に展示します。
その他 応募作品は原則として返却しません。著作権は、すばらしいやまもとを創る協議会に帰属します。

「サンタさんも登場!! ジュニア・リーダー主催「クリスマス会」
 先月17日(土)、23日(金・祝)の2日間、中央公民館などを会場に、町内小学生を対象としたジュニア・リーダー主催の「クリスマス会」を開催されました。
 当日は、ジュニア・リーダーが準備したゲームやレクリエーションに、子どもたちは大盛り上がり。会の締めくくりに「サンタさん」が登場



子どもたち一人ひとりにプレゼントが手渡されました

し、集まった子どもたちに素敵なプレゼントが配られました。

第45回新春俳句大会(鎮魂句会)を開催します

日時 平成24年1月29日(日) 10時～
 会場 坂元公民館(2階) 第2会議室
兼題 春隣・日脚伸ぶ
選者 遠藤秋尾先生
参加資格
 どなたでも参加できます。
投句料 1人1,000円(投句は1人5句まで)
申し込み 投句用紙に必要事項を記入のうえ、投句料を添えて1月13日(金)まで、最寄りの公民館へ申し込みください。
 ※投句用紙は、中央・坂元両公民館で受け取れます。
問 俳句会事務局 岩佐輝男 38-10137



新春囲碁大会を開催されます

日時 1月14日(土) 受付9時～
 会場 中央公民館(2階) 会議室
参加資格 どなたでも参加できます。
対局方法 クラス別開催(A・B・Cの3クラス)
参加料 1人1,000円
申し込み 当日受付します。
問 山元町囲碁愛好会代表 阿部孝男 090-1523417027



1万人寒稽古を開催します
 平成24年宮城県公立武道館協議会1万人寒稽古(柔道・空手・剣道)を次により開催します。
 稽古の様子は、自由に見学



優勝した山寺いきいきクラブAの皆さん

「輪投げの集い」が開催されました
 先月6日(火)、中央公民館大ホールで山元町老人クラブ連合会主催の「第9回輪投げの集い」が開催されました。会員の方々は、輪投げを楽しみながら、日ごろの運動不足を解消するとともに交流を深めました。
 なお、競技の結果は、次のとおりです。
優勝 山寺いきいきクラブA
準優勝 山寺いきいきクラブB
第3位 東花釜福寿会A

上下水道事業所からののお知らせ

上下水道事業の現状と復旧

水道の現状

現在、水道は町内全域において通水が完了していますが、著しく震災の被災を受けた水道管はまだまだ復旧できない状況で、仮設水道管での対応を行っているところが多数あり、皆様には大変ご迷惑をおかけしています。
 また、津波により沿岸付近の水管橋(橋に添加している水道管)が多くの箇所被災し、使用できない状況にあります。



被災した水管橋(花釜区)

下水道の現状

下水道は、町内にある5つの処理施設のうち、坂元農集処理施設(町地区)を除く4つの施設が津波により、全壊および半壊という甚大な被害を受けました。施設の機能的なものは停止していますが、山元浄化センターおよび上平農集処理施設においては簡易処理として汚水を沈殿させ、その上澄みを塩素消毒し、放流しています。(現在、放流水質の改善に向けた応急対策を検討しています)

上下水道事業の復旧

上下水道事業では被災した箇所の早期復旧を目指し、国や県または他の機関と連携を取りながら復旧への計画・準備を進めています。
 ライフラインとしての重要な役割を担っている上水道は、皆様に安全安心な水を提供できるように努め、下水道については、生活環境や自然環境の保全に努めてまいります。

水道漏水の早期発見で無駄な出費をなくしましょう。

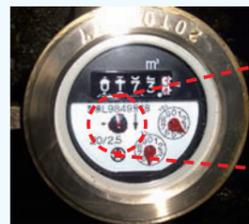
現在、震災の影響などによる各家庭での漏水が増えています。また、先月号でも紹介しましたが、これからの厳冬期に入り、水道管の凍結により漏水が増えることが見込まれます。
 標準的な使用水量は、4人家族の場合、2カ月間で約50～60m³です。検針票を見て、これより多い場合や前回検針の水量より多いときは、漏水している可能性がありますので、次の手順でメーターを確認し無駄な出費をなくしましょう。

漏水確認の手順

- 1)まずお使いになっている蛇口を全て閉めてください。
- 2)次に外に出てメーターボックスの場所を確認してください。【写真1】
- 3)ボックスの中のメーターのふたを開け【写真2】、メーターの中のパイロット【写真3】と呼ばれる銀色の玉が回っていないか確認します。
- 4)静止していれば漏水していませんが、回っていたら漏水の可能性が高いので、もう一度、(1)の蛇口の閉め忘れがないか、確認してください。
- 5)再確認を行ってもパイロットが回っているようでしたら、漏水の可能性がありますので、**町指定の給水装置工事事業者(町指定事業者以外は修理できません)**に連絡し、漏水箇所を発見してもらい修理してください。その際の修理代金は、お客様の負担になります。(漏水の状況によって金額は変わります)



【写真1】



【写真2】



【写真3】パイロット

※漏水等を修理した場合、地下などの目視できない修理箇所によっては上下水道料金を減額することがありますので、工事事業者からの漏水修理報告書を上下水道事業所へ提出するようにしてください。

問 上下水道事業所 庶務班 ☎ 37-1120 (内線251)

年金事務所からのお知らせ

20歳がスタート！「国民年金」

新成人の皆さん、おめでとうございます。
20歳を迎えると、さまざまな権利とともに義務が生まれます。国民年金に加入することもそのひとつです。
皆さんの中には、「年金なんて先のことだから関係ない」なんて思っている方はいませんか？
国民年金は、日本に住んでいる20歳から60歳までの全ての方が加入して、やがて誰にも訪れる老後の所得保障だけでなく、障害や死亡といった不慮の事故などにより私たちの生活の安定が損なわれることのないよう、みんなが前もって保険料を出しあい、お互いを支え合う制度です。

また、少子高齢化が進み、現役世代の負担が年々増加していますが、基礎年金の半分は国庫負担で賄われているため、現在20歳の方も納付した保険料以上の年金が受け取れます。ただし、加入の手続きや保険料の納め忘れがあると年金が受け取れないこともありますので、「あのときに…」と後悔する前に必ず国民年金の加入手続きを取りましょう！

なお、学生の方や収入が少なく保険料の納付が困難な方の場合は、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など保険料の支払いを猶予する制度がありますので、役場町民生活課または坂元支所で国民年金の加入手続きと併せて申請してください。
詳しくはお近くの年金事務所または町民生活課および坂元支所へお問い合わせください。

☎ 仙台南年金事務所 022-246-5117
町民生活課 022-37-1112(内線125)
坂元支所 022-38-0301

ハローワーク仙台による巡回相談

ハローワーク仙台では、町内の仮設住宅集会所等において、次のとおり巡回相談を実施します。
求人情報の提供や職業紹介など、お仕事探しに関するさまざまなご相談をお受けしていますので、お気軽にご利用ください。

■対象となる方
東日本大震災により被災し、町内の仮設住宅等に在住の方

■巡回相談の内容
○初めてハローワークを利用する方については、ハローワークに登録(求職登録)することができます。
○お仕事探しに関するさまざまなご相談をすることができます。
○ハローワーク仙台が毎日発行している「求人ホットニュース」をはじめとした、新着の求人情報をお持ちします。
○応募したい求人が見つかった場合は、その場で求人先に連絡し紹介します。

実施場所	日程	時間帯
浅生原内手 仮設住宅集会所	1月19日(木)	10:30～12:00
	1月26日(木)	
浅生原東田 仮設住宅集会所	2月2日(木)	13:00～14:30
坂元支所	1月20日(金)	10:30～12:00
	1月27日(金)	
中山熊野堂 仮設住宅集会所	2月3日(金)	13:00～14:30
ナガワ仙台工場内 仮設住宅集会所	1月16日(月)	10:30～12:00
	1月23日(月)	
町民グラウンド 仮設住宅集会所	1月30日(月)	13:00～14:30
	2月6日(月)	
浅生原箱根 仮設住宅集会所	1月17日(火)	10:30～12:00
	1月24日(火)	
高瀬西石山原 仮設住宅集会所	1月31日(火)	13:00～14:30
中央公民館	1月18日(水)	10:30～12:00
	1月25日(水)	
旧坂元中学校跡地 仮設住宅集会所	2月1日(水)	13:00～14:30
	2月8日(水)	

☎ ハローワーク仙台 計画職業紹介部門
022-299-8820

募集

亘理名取共立衛生処 理組合職員採用試験

試験区分
地方上級一般行政事務
採用予定人数 2人
採用時期 平成24年4月以降
一次試験
平成24年2月5日(日)
受験資格 昭和57年4月2日
から平成24年4月1日まで
に生まれた方
受付期間 1月5日(木)～20日
(金)、土・日・祝日を除く8
時30分～17時
※郵送の場合は20日(金)必着
資料請求方法
左記まで直接または郵送
※郵送を希望する場合は、封
筒の表に「上級試験案内請
求」と朱書きし、宛先を明
記した返信用封筒(A4版
が入る大きさ)に120円
切手を貼付したものを必ず
同封してください。

資料請求・申し込み先
亘理名取共立衛生処理組合
総務課
〒989-1245
岩沼市南長谷字山小屋74-36
☎ 22-17717



☎ 問い合わせ先 ☎ 申し込み先

おしらせ

平成24年経済センサス活動調査を実施します

平成24年2月に実施する経済センサス活動調査は、全ての企業・事業所を対象に、全産業分野の経済活動を同一時点で網羅的に把握する我が国唯一の調査です。
調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。
支社等のない事業所等には、調査員が直接伺い、調査票をお配りします。
支社等を有する企業には、

国、都道府県および市が民間事業者を通じて本社等に調査票を郵送します。
調査票は、平成24年1月末日までに届けていただきます。2月1日以降に提出してください。
調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願い申し上げます。
総務省・経済産業省・宮城県・山元町
経済センサス活動調査については、キャンペーンサイトをご覧ください。
<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>
☎ 企画財政課 企画班
022-37-1118(内線226)

求職者支援制度(職業訓練)のご案内

ハローワークでは、再就職を目指す方を対象とした「求職者支援制度(職業訓練)」があります。また、収入等の要件や訓練の出席要件等を満たせば、訓練受講給付金(月10万円)が支給されます。
科目や実施時期等、詳しくは次までお気軽にご相談ください。
○受講料 無料(テキスト代は有料)

乳がん検診(対象30歳～) 会場:保健センター

下記日程で行いますので、乳がん検診受診票の問診事項を記入のうえ、会場に直接お越しください。

月日	受付時間	対象地区
1月30日(月)	8:30～9:00	八手庭・大平
	9:00～9:30	横山
	10:00～10:30	小平
	12:45～13:30	鷲足・合戦原
1月31日(火)	8:30～9:00	浅生原
	10:00～10:30	山寺
	12:45～13:30	真庭
2月1日(水)	8:30～9:00	牛橋
	9:00～9:30	花釜(0～22班)
	10:00～10:30	花釜(23～42班)
	12:45～13:30	花釜(43班～)
2月2日(木)	8:30～10:30	山下
	12:45～13:30	久保間・中山・磯
2月3日(金)	8:30～9:00	下郷
	9:00～9:30	新浜
	10:00～10:30	笠野
	12:45～13:30	中浜
2月4日(土)	8:30～9:00	高瀬
	10:00～10:30	上平
	12:45～13:30	町

■検査内容・検診料
・30～39歳:超音波検査 2,700円
(検診料5,985円のうち、町補助金3,285円)
・41～63歳:マンモグラフィ2方向 4,200円
(検診料8,085円のうち、町補助金3,885円)
・65歳以上:マンモグラフィ1方向 2,100円
(検診料4,725円のうち、町補助金2,625円)
※40歳以上で、奇数年齢の方が対象です。
※農協組合員世帯の方には、200円の助成があります。
※医療費の一部負担金免除証明書が交付されている方は自己負担金が免除になります。
☎ 保健福祉課 健康づくり班 022-37-1113(内線148・149)

☎ ハローワーク仙台 職業紹介第一部門
022-2299-8818
検察審査会とは?
刑事手続きのなかに国民の良識を反映させ、よりよい刑事司法の実現のために設けられているもので、選挙権を有する一般国民から選ばれた11人の検察審査委員が、国民を代表して検察官が被疑者を裁

判にかけなかったこと(不起訴処分)の善しあしを審査しています。
事件や事故に遭われた方やその遺族等は、検察官の不起訴処分に対する納得がいかない場合、検察審査会による審査を求めることができます(費用は一切不要、申立人の秘密厳守)。
審査の申立てに関する相談等は、次までお問い合わせください。

☎ 仙台検察審査会事務局
022-2222-4750
<http://www.courts.go.jp/kensin/>
■日時 1月15日(日) 2月5日(日)
■受付 8時30分～9時30分 13時～14時
☎ 仙南運転免許センター 免許係
022-4-53-0111

仙台南税務署からのお知らせ

確定申告書作成会場のお知らせ

所得税は2月16日(休)～3月15日(休)まで、贈与税は2月1日(休)～3月15日(休)までが確定申告期間です。
仙台南税務署では、1月4日(休)～1月31日(休)までに所得税の還付申告を行う方は、税務署が申告会場となりますが、2月1日(休)からは、相談内容により会場が分かれます。

申告相談の内容	会場
東日本大震災により住宅や家財などに損害を受けた方の所得税の還付や軽減・免除に関する申告相談	仙台南税務署(仙台市太白区柳生2-28-2) 【開設期間】1月4日(休)～3月15日(休) 【受付時間】8時30分～16時 ※土・日・祝日を除く (2月19日と2月26日の日曜日は開設します)
上記以外の申告相談	TICビル3・4階「確定申告センター」 (仙台市青葉区一番町4-9-18 仙台三越向かい) 【開設期間】2月1日(休)～3月15日(休) 【受付時間】9時～16時 ※土・日・祝日を除く (2月19日と2月26日の日曜日は開設します)

【ご注意】

- 東日本大震災による住宅や家財などの損害額の計算がお済みの方は、確定申告センターでも申告相談をお受けします。
- ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

申告書作成は、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に従って金額などを入力するだけで、所得税の申告書などを簡単に作成することができます。作成した確定申告書などは、「電子申告(e-Tax)」により提出することができるほか、印刷して「書面」で提出することもできます。「電子申告(e-Tax)」により提出すると、最高4,000円の税額控除を受けられるほか、源泉徴収票や医療費控除の領収書の添付省略、還付金をスピーディーに受け取ることができるなどのメリットがありますので、ぜひご利用ください。

【国税庁ホームページアドレス】 <http://www.nta.go.jp>

※電子申告(e-Tax)を利用するには、住民基本台帳カード、電子証明書、ICカードリーダーが必要で



問 仙台南税務署 ☎ 022-306-8001

震災による所得税の還付または軽減・免除に関する手続き、所得金額や税額の計算の仕方など、ご不明な点などがありましたら、仙台南税務署にお電話でお問い合わせください。
音声案内により、「電話相談センター」におつなぎします。

所得申告相談日程表

平成23年分(平成23年1月1日～12月31日)の所得申告が始まります。
町では下記の日程で申告相談を行いますので、お気軽にご相談ください。

【受付時間】 午前の部 9時～11時30分 午後の部 13時～15時30分

※午前の時間帯は、指定している地区の方のみ受付します。
指定日に都合の悪い方は、午後の時間帯にご来場ください。
仮設住宅に入居または一時的に避難されている方で、住民票を異動していない方は、震災前の行政区で申告してください。
町外に住民票を異動されている方は、平成24年1月1日に住民票を置いている市町村で申告してください。なお、平成24年度の住民税についても平成24年1月1日に住民票を置いている市町村より課税になります。

2月の日程

日	曜日	地区	会場	
16	木	真庭	支所 会議室 (3階)	
17	金	中山・上平		
20	月	下郷		
21	火	町		
22	水	磯・久保間		
23	木	中浜	中央公民館 大ホール (2階)	
24	金	機器搬入等により申告相談は実施していません。		
26	日	事前予約の方のみ受付		
27	月	牛橋		震災被害による雑損控除を受けられる方
28	火	笠野・新浜		
29	水	山下		

※譲渡所得申告・贈与税申告・消費税申告等は、直接、税務署主催の確定申告書作成会場で申告してください。
※2月26日(日)の申告相談については、事前予約の方のみの受付となります。平日、相談に来られない方を対象としていますので、詳細については、別途配布の「町県民税申告のお知らせ」を参照願います。

3月の日程

日	曜日	地区	会場
1	木	花釜 ※名字が「あ 行～た行」 で始まる世 帯の方	震災被害による雑損控除を受けられる方
2	金	花釜 ※名字が「な 行～わ行」 で始まる世 帯の方	
5	月	小平・合戦原・療養所	中央公民館 大ホール (2階)
6	火	浅生原	
7	水	高瀬	
8	木	山寺	
9	金	横山	
12	月	八手庭・鷲足	
13	火	大平	
14	水	全地区	
15	木	全地区	

※インフルエンザ等の予防のためにマスク等を着用願います。

※税務納税課事務室内での申告は受付できませんので、必ず申告会場で申告してください。

東日本大震災により住宅等に被害を受け、平成22年分として雑損控除を受けられていない方で平成23年分として雑損控除を申告される方は、税務署の出張相談が行われます2月27日～3月2日の間に申告されますようお願いいたします。
※2月27日は午後のみ、3月2日は午前のみとなります。

【雑損控除を申告された方へ】

平成23年度震災特例法により、平成22年分として東日本大震災に関する雑損控除を受けられた方で、平成23年分に繰越す損失がある方は確定申告が必要になりますので、忘れることのないようご注意ください。
※平成22年分確定申告と別に『平成23年度町民税・県民税雑損控除申告書』を提出されている方で、同申告書内の【1. 東日本大震災に係る雑損控除の特例の適用】にて【適用を受けない(24年度分に適用)】を選択された方は町県民税についても確定申告と別途申告が必要になりますのでご注意ください。

問 税務納税課 ☎ 37-1114 (内線151・152)

休日急患当番医

診療時間 9時～17時

※休日における当番医は、急患患者の医療業務のみを目的として実施していますのでご協力をお願いいたします。なお、休日当番医は変更になることもありますので新聞などで確認のうえ受診してください。

- ◆板橋胃腸科肛門科(亘理町)
☎34-8911
- ◆あいタウン歯科クリニック(岩沼市)
☎23-6480
- ◆三浦クリニック(亘理町)
☎33-1811
- ◆島田歯科医院(名取市)
☎022-383-0763
- ◆津川歯科医院(亘理町)
☎34-4733
- ◆大友医院(亘理町)
☎34-1335
- ◆マコト歯科医院(亘理町)
☎34-5135
- ◆ライフタウン歯科クリニック(名取市)
☎022-386-1825
- ◆松村クリニック(山元町)
☎38-0005
- ◆小島歯科医院(岩沼市)
☎22-6480
- ◆熊谷内科医院(亘理町)
☎34-5140
- ◆荘司歯科医院(名取市)
☎022-384-0101
- ◆山田歯科医院(岩沼市)
☎22-3229
- ◆三上医院(亘理町)
☎34-3711
- ◆心友歯科医院(岩沼市)
☎25-6444

注)疾患や年齢等によっては対応できない場合もありますのでご了承願います。



やまもと健康だより

保健福祉課 健康づくり班
☎37-1113(内線145)

実施場所:保健センター

事業名	月日	対象者等	受付時間
母子手帳交付	1月23日(月)	山元町に住所のある妊婦	9:30～10:00
	2月6日(月)		
母子関係 3～4カ月児健診	2月8日(水)	平成23年9月8日～11月1日生まれ	13:00～13:20
1歳1～2カ月児健診	2月8日(水)	平成22年12月～平成23年1月生まれ	12:00～12:20
幼児歯科健診	1月19日(木)	平成21年7月～9月生まれ	12:45～13:00
離乳食教室	2月8日(水)	5～6カ月児	9:45～10:00

水道休日当番

- ◆(有)阿部ホームサービス
☎37-3469
- ◆(有)伊藤設備工業所
☎37-2108
- ◆木村工事(株)
☎37-2853
- ◆(株)クリワダ
☎37-0013
- ◆(有)佐藤設備
☎37-4165

複数の修理が入っている場合はすぐに対応できないことがありますので、ご了承願います。

☎上下水道事業所 施設班
☎37-1120(内線253)

紙おむつ・粉ミルク配付のお知らせ

これまでに支援物資として寄せられた、紙おむつ(子ども用)・粉ミルクを次により配付します。

■配付期間

1月16日(月)～3月23日(金)
9時～16時

■配付場所

体育文化センター

■配付方法

母子手帳をお持ちいただいた方に、ひと月分ずつ配付します。種類や数に限りがありますので、なくなり次第終了します。

○ひと月分目安

子ども1人に、紙おむつ300枚・粉ミルク850グラム3缶程度

☎総務課 総務班
☎37-1111(内線213)



1

日	月	火	水	木	金	土
...
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31

情報局やまもと

Information

1月15日から2月14日まで

2

日	月	火	水	木	金	土
...
...	1	2	3	4
...	5	6	7	8	9	10
...	11	12	13	14	15	16
...	17	18	19	20	21	22
...	23	24	25	26	27	28
...	29

今月の相談

- ◆**青少年相談** 1月16日(月)
青少年の非行防止のため、問題を抱える青少年や親との相談
- ◆**登記相談** 2月14日(火)
土地や建物の名義書き換えなど、登記に関する相談
- ◆**消費生活相談** 2月8日(水)
商品の安全、品質または訪問販売・債務などに関する相談
※水曜日を除く、平日9時～16時にも相談できます
- ◆**行政苦情相談** 2月10日(金)
国や県、町などが行っている仕事についての要望や苦情相談
- ◆**生活相談** 1月18日(水)
生活、家庭、老後などに関する困りごと、悩みごと相談
- ◆**人権相談** 1月19日(木)
人権侵害、夫婦、親子間のトラブルや、いじめなどの相談
- ◆**年金相談** 1月20日(金)
国民年金、厚生年金など年金に関する相談

場所 役場仮庁舎 第1相談室(1階) 時間 13時～15時 ☎町民生活課 生活班 ☎37-1112(内線121)

- ◆**健康相談** 2月6日(月) 13時30分～16時
生活習慣病予防を中心に、健康づくりに関することに、保健師・栄養士が相談に応じます。
- ◆**精神保健相談** 2月3日(金) 10時～11時30分
精神科医によるこころの相談(認知症の相談も含む)
- ◆**育児相談** 2月6日(月) 10時～11時30分
育児相談にあわせて臨床心理士による発達相談を行います。希望者は事前に電話で申し込みください。(発達相談は年4回実施予定です)

場所 保健センター ☎保健福祉課 健康づくり班 ☎37-1113(内線148・149)

※相談者が重複するとお待ちいただく場合がありますので、事前の電話予約が便利です。

連載 消費生活・これだけは知っておこう!

第53回 悪質商法に注意しましょう!～ワンクリック請求～

インターネットや携帯電話などで「無料」だと思い、音楽をダウンロードしたり、占い、ゲーム、アニメなどを利用していると、巧みに有料サイトに誘導され、料金請求の画面が表示されたり、意図せずアダルトサイトや出会い系サイトに接続されたりして、料金請求の画面が表示されるものをワンクリック請求といいます。

いきなり「登録になりました」と表示されても、契約が成立していないことが多いので、業者の請求に応じることはありません。言われるままに支払わずに、契約の意思がなければ、すぐにサイトを閉じましょう。

困ったときは役場消費生活相談窓口にご相談ください!

☎町民生活課 生活班 ☎37-1112(内線123)

消費生活相談窓口 水曜日を除く、平日9時～16時

りんごラジオ

FM 80.7MHz

放送時間

- ・月～金: 8時～18時
- ・土～日: 10時～16時

※9時・12時・17時に町の情報をお知らせしています。

☎0223-29-4772

ringoradio@gmail.com

情報をどしどし
お寄せください!

人口の動き

11月末現在(前月比)

世帯 4,936戸(△14戸)

男 7,105人(△21人)

女 7,415人(△30人)

合計 14,520人(△51人)

出生 5人 転入 23人
死亡 13人 転出 66人
婚姻 8件

△:減少

やまもと幼稚園 もちつき大会

【表紙関連記事】

先月15日(木)、やまもと幼稚園でもちつき大会が行われました。このもちつき、幼稚園創設以来40年も続く、父母の会主催の伝統行事だそうです。

役員のお父さんたちが園庭でふかしたもち米が炊き上がり、いよいよ臼へ。待ちに待ったもちつきに、園児たちは「よいしょっ! よいしょっ!」と元気な掛け声をかけながら、楽しそうに杵をふるっていました。

さて、つきあがったおもちはお母さんたちが“ごまもち”や“きなこもち”などにして昼食に。園児の皆さんは、口の周りにごまやきなこのおヒゲを生やしながら、つきたてのおもちを口いっぱいにはおぼっていました。



つきたてのおもち、
やわらか〜!

全国各地から、たくさんのご支援、 本当にありがとうございます!

これまで、全国各地並びに町民の皆さんから救援物資や義援金・寄附金など、たくさんのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

先月号に引き続き、ご支援いただいた皆さんをご紹介します。なお、お寄せいただいた寄附金は、町の復旧・復興、その他指定用途の財源に活用させていただきます。

寄附金 11月30日現在、敬称略・50音順

【個人】青木國太郎、阿部俊昭、阿部みよ子、阿部朋博、アカマ アキコ、安倍雅道、アマガサ キヨミ、アライ マユミ、伊藤真、イトウ アヤミ、イトウ マナブ、イトウ マサコ、イワサ アキ、糸井重里、イケノウチ ハジメ、イノマタ テツヤ、イワツキ アキヒロ、イズミサワ カズユキ、イワサ ヒロヨシ、稲垣裕司、イワサキ アキラ、ウメツ テルヒコ、宇山操、オオツボ タカシ、大槻俊逸、オカダ ケン、オノ ヤスマサ、オノ ヤスシ、オオツキ モトイ、オオヤマ ヨシユキ、大條文也、オサダ ハルヨ、オノ マモル、オオヤマ チエコ、川西利康、加藤市三、カンノ ノブコ、カドウチ ヨシオ、菅野興起、キモト ユウコ、キグチ ツネオ、キグチ トモエ、キムラ トシオ、キフキン タナカ、クマガイ ミキコ、コイワイ ヨシアキ、コマツ シンジ、コサカ シノブ、コガ ヒロコ、斎藤美枝子、酒井仁、佐久間玉流、サトウ ヒロコ、サトウ アズサ、佐藤正太郎、サトウ マサル、ササキ エイ、サトウ チカエ、サクマ カズノリ、白子福也、白子久美子、鈴木英司、スギモト アツシ、スズキ サチオ・ヤエコ、スズキ ミキ、スエヒロ シンイチ、関川常雄、相馬友子、高橋末子、高橋桂子、高野幸司、タカハシ ノリコ、タカハシ ヤスミ、タグチ レイコ、伊達忠敏、タナカ キクコ、チヨウ リユウコ、千田久米治、チハル・ヨウコ・レン、椿芳雄、トミナガ タケシ、Tokuko Tobias、中川英津子、ナガサワ マキ、奈良紀男、ナカムラ コウイチ、ナンジヨウ カズトシ、ニツタ マサシ、林イト、ハヤサカ ヨシアキ、ハガ ヒロキ、ハーブ・オオタ・ジュニア、ヒロセ シンイチ、フルサワ ヒデキ、藤本達郎、フジモト エミ、フタカワ カズヒサ、ホリムラ ヒロオ、古山直樹、星川、マズダ エリコ、増間道子、ミヤケ ヒロカズ、ミシナ フミエ、ミヤタ ナオミ、村井恵美子、村山直子、村中宏光、村中きくみ、モリモト ヤスハル、モリタ タカユキ、モリモト ヤスハル、ヤスカワ ミホ、ヤマモト キミコ、ヤスダ キエコ、ヤマモト ヨシユキ、ヤシマ カズコ、山本純子、ヨネクラ ヒロノブ、ヨシダ ハルヤ、ヨシダ ツカサ、ワタナベ マサヒロ、ワタナベ マサヒロ、ワナタベ マキ、その他匿名希望者多数

【団体・企業等】あぶくま信金山元友の会、アツコサンチノ ナナカマトヒラヤマヨシヒロ、板倉三・四丁目町会、岩機ダイカスト工業(株)、宇都宮南ロータリークラブ、愛媛県土木協会、お菓子のぜんげつ堂、大内更生保護女性会、大内第5区新興会ゴルフ部、おもだか会、大河原町理美容ボランティアの会、大河原町叙情歌を唱う集い実行委員会、角田市西根行政区長会、角田市毛茸第一納税組、角田パンドクラブ、(株)ブレインコミュニケーション、(株)宇佐美鋳油、(株)インテック、(株)ウィズ、(株)相和技術研究所、(株)NIPPO、(株)日幸電機製作所、(株)プリスクリプション エルム&パーム パーム薬局山元支店、(株)ベガルト仙台、(カ)オオバ、(カ)マグネットデザイン、(カ)ヤマムラセツビ、(カ)センカヨシノヒロキ、鎌倉童謡の会、空手道塾長内田塾、ガク)グロービスケイ、北岡青年親睦会、(協)加茂自動車センター、ケイシン(株)クボタ環境サービス(株)東北支店、小平興業、小平興行(株)安全協力会、(公)日本毛髪科学協会宮城県支部、(財)宮城県予防医学協会、(財)宮城県建築住宅センター、(財)宮城県教育会館、(財)野村生涯教育センター、(資)ミヤギケンシチヨ、昭和電線ホールディングス(株)、(社)日本税関家協会、(社)日本補償協会、(社)日本補償協会東北支部、シダックス(株)、スコシデスガフルサトフ、センナンベニヤ・カ、全日本教職員組合、聖ヨハネ福音協会財団、仙台サーフショップユニオン、全国信用金庫協会、曹洞宗宗務庁、ゼンコクシンリンカンキョウ、高瀬ガーデン親睦会、ダイイチホウキ(カ)、チトセフナバシサンシヨウ、テラオカフアシリテーゼ、トクヒ)セタガヤコンサルカ、豊橋ユネスコ協会桜ヶ丘学園、東京書籍(株)、TRADITIONSLOGE ミュンヘン、ナトリキタコウコウキユウト、日本医療福祉生活協同組合連合会、ニッポンユニセフボキン、沼津観光開発(株)、ネンポウシンキヨウソウホ、日立造船(株)、平塚南ロータリークラブ、日向地区建設業協会、日向門川入郷地区建設事業協同組合、丸森町金山地区、丸森町小斎地区、丸森町ロータリークラブ、丸森連合婦人会、宮城県家庭教師ネットワーク、宮城県国民健康保険団体連合会、宮城県市町村組合退職手当組合、水ing(株)東北支店、ムラタマチコイズミシヨウ、ヤマモトチヨウニチヨウメシ、ヤマモトヤスエトウホクダイガクマエダ、山元リサイクルフォーラム、(有)ノーザンレーシング、(有)清和フーズ、(有)可児自動車、(有)安田工務店、ユフィンブンカキロクエイ、立正佼成会一食平和基金

【自治体等】愛知県、安平町、いばらぎ自民党議員団、愛媛県新居浜市、愛媛県八幡浜市、群馬県中之条町議会、仙台三桜高等学校、大リビア・アラブ社会主義人民ジャマハリヤ国人民局、伊達市姉妹都市支援委員会、ダテシギカイギンカ、北谷町議会、月ヶ瀬中学校、ドイツ・リンデン市、洞爺湖町総務課、北海道伊達市、三重県多気町議会、三重県議会防衛防災議員連盟、宮城県町村会、宮城県町村議会議長会

※上記は、町が受付した名簿に基づき掲載しています。

※記載漏れやお名前に間違いがありましたら、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

編集・発行/山元町役場総務課

〒989-2292 宮城県亘理郡山元町浅生原字作田山32 ☎0223-37-1111

ホームページアドレス <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp>

携帯サイトアドレス <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/k>

eメールアドレス info@town.yamamoto.miyagi.jp



QRコード読みとり機能付きのカメラ付携帯電話で左記のコードを読みとると簡単にサイトにアクセスできます。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この「広報やまもと」は1部当たり約46円です。

印刷所/今野印刷(株) ☎022-288-6123

広報やまもと1月号 No.386 (34)